



国立病院機構(NH) 宇都宮病院院内広報誌

わかあゆ

WAKA - AYU



基本理念

- 1 私たちは、政策医療ならびに地域ニーズに応じた一般医療をおこないます。
- 2 私たちは、患者様の立場や権利を尊重し、患者様中心の医療をおこないます。
- 3 私たちは、良質で安全な医療を提供します。
- 4 私たちは、常に改革心を持ち、健全な経営をめざします。

目次

20 **夏** 09
第12号

広報誌／年4回発行

発行：国立病院機構 宇都宮病院
発行日：平成 21年 7月 1日
発行責任者：沼 尾 利 郎

- | | | | |
|-------------------------|---|--------------------|---|
| ■ 第55回 米国整形外科基礎学会に出席して… | 1 | ■ 看護の日 記念行事…………… | 5 |
| ■ 当院外科における内視鏡手術の現状…………… | 2 | ■ スポーツフェスティバル…………… | 6 |
| ■ 咳エチケットを実践しましょう…………… | 3 | ■ 職場紹介【医事業務】…………… | 6 |
| ■ 理容室50年のあゆみ…………… | 4 | ■ 外来診療担当医表…………… | 7 |
| ■ 看護職員合同就職説明会に参加して…………… | 5 | | |

ラスベガスも リーマン・ショック？

副院長 田中孝昭



写真 1

2月に第55回米国整形外科基礎学会で発表のためラスベガスに行きました（写真1）。学会に行く前に、10年ぶりにユタ州ソルトレイクシティにある病院に立ち寄りました。その病院には人工膝関節手術で有名なDrラスムセン氏がおり、10年前にも見学で訪ねています。彼が使用している人工膝関節は当院で私が使っているものと同じです。最近、人工関節を挿入する際、適切な靱帯バランスを獲得する新しい器具を開発したので、意見を聞きたいとのことで手術に参加しました。写真2はラスムセン医師のオフィスで撮ったものですが、私の後方に見えるモニターが手術室を映し出しており、準備がすべて揃うと手術室に向かうということです。すべてEBM（根拠に基づく医療）で動くアメリカでは、術者の手洗いはウエルパス（速乾性消毒剤）1分1回のみで驚きました。当院の熊谷先生なら失神しているでしょう（笑）。ただし宇宙服（のような手術着）と2重手袋は同じでした。相変わらず手術室は寒く、18℃に設定されて

いました。同病院には、スポーツ整形外科で有名なローゼンバーグ医師がおり、ゴルフのタイガーウッズ選手の前十字靱帯再建術を昨年行っています。ちょうど滞在中にタイガーの復帰戦が行われており、「膝は調子いい」と記者にコメントしていました。

この病院は整形外科だけの病院なので比較的小さなものでしたが、それでもリハビリ用スペースは広く、25mプールのほかにリハビリ用自転車が50台以上ありました。3件の手術に助手として参加後、翌日にはネバダ州ラスベガスに移りました。かなりにぎわっているようにみえましたが、ホテルの方に聞くと、「リーマン・ショックで例年の1/3に観光客は激減している」とのことでした。写真3は私のポスターの前で撮ったもので、いっしょに写っているのは4年前に当院勤務で現在は米国留学中の牛久先生（左）です。写真4は、現在年間40回の講演を依頼される売れっ子の斉藤先生（左から2人目）とアメリカ人よりも大きい菊地先生（左端）であり、当院で勤務した経験のある先生たちは今でも研究部門で活躍しています。

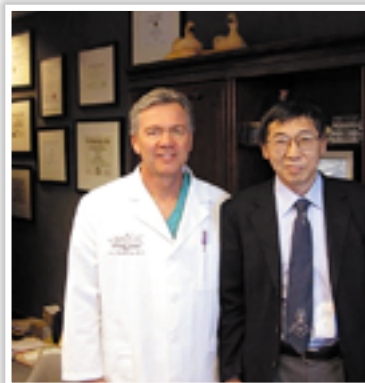


写真 2

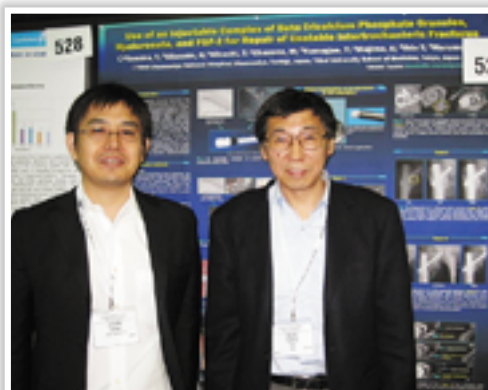


写真 3



写真 4

当院外科における 内視鏡手術の現状

診療部長 増田 典弘

内視鏡手術（腹腔鏡手術、胸腔鏡手術）とは、“きず”が小さく患者様に負担の少ない手術であり、数ヶ所の小さな穴をあけ、そこからお腹の中や胸の中に写真のような手術器具を入れ、モニターを見ながら行うものです。「きず」が小さく痛みが少ない、「開腹・開胸手術と比較して回復が早い」、「術後の癒着が少ない」など、患者様にとってはメリットが大きな手術方法であり、当院での全身麻酔手術の推移を見ましても（図 1）、年々内視鏡手術の件数が増加しております。平成 16 年以降の当院での主な内視鏡手術総数は、胆のう摘出 200 例、胃癌 32 例、大腸癌 40 例、肺癌・気胸 70 例、腸閉塞 21 例、虫垂炎 26 例であり、他にも、鼠径ヘルニアや下肢静脈瘤、食道裂孔ヘルニア、胃十二指腸潰瘍穿孔などにも積極的に内視鏡手術を行っております。

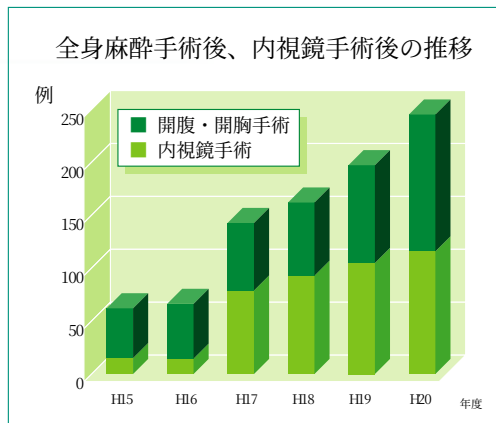


図 1

特に胆石、胆のう炎の手術に関しては、全胆のう摘出患者の 96% は内視鏡手術を選択しており、そのうち 97% は内視鏡のみで完全に手術が行われております。また、写真 1 の「ミニループリトラクター」という、直径 2mm の非常に細い器具を用いて行っており、「きず」のきれいさにおいても他院に勝っていると思います。また胃癌、大腸癌の手術に関しても、出血や、術中の臓器損傷などで開腹術へ移行した症例は無く、安全に手術が行われております。術後の傷の写真 2 を御参照下さい。左の胆のう摘出術の手術では、“ヘソ”の奥にカメラを入れる穴が開けられており、みぞおちに 5mm、右肋骨の下に 2mm のきず（18G の注射針くらいです）で手術が行われております。また胃癌の内視鏡手術（ソフトバンク前監督の王さんが受けた手術です）では、“ヘソ”のカメラの穴、左に 5mm の穴 2箇所、右 1箇所、そして切った胃を取り出す 3.5cm の“きず”がみぞおちにあるだけです。

これからもより一層、「安全かつ患者様にやさしい内視鏡手術」を志していきたいと思いますので、みなさんのお知り合いの方でお悩みの方がおられましたら、ぜひ当院の外科医に声をおかけください。

内視鏡手術の器具

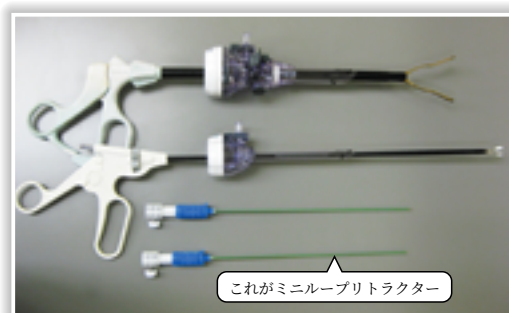
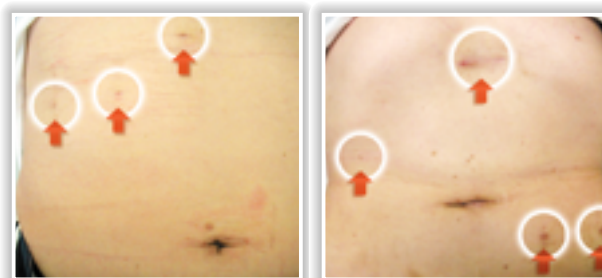


写真 1

内視鏡手術の手術創



胆のう摘出術

胃癌根治術

写真 2

看護師募集



■ 職 種

常勤看護師（夜勤のできる方）

新卒者、既卒者でブランクのある方も研修があり安心です。

■ お問い合わせ

月～金曜日 8:30～ 17:00

TEL 028-673-2111（庶務係へ）

いつでも
ご相談に
応じます



咳エチケットを 実践しましょう！

水戸医療センター 感染管理認定看護師 三沢 美知代

今シーズンの季節性のインフルエンザの院内感染は、「院内感染拡大か！」と一時危機感が高まりましたが、皆様の適切な予防策の効果が有り院内感染の拡大を防ぐことができました。

インフルエンザのシーズンがようやく終わったと思ったら、今度は、豚の新型インフルエンザの登場です。そして鳥インフルエンザの恐怖も身近に迫っています。

皆様は咳エチケットをご存知ですか？

これは、咳とくしゃみはティッシュで口と鼻を覆い、飛沫を拡散させない、咳があるときはマスクをする等のことです。鳥インフルエンザの感染経路は、飛沫感染と接触感染と推測されています。咳エチケットは、鳥インフルエンザの流行地からの帰国者や渡航者のみをターゲットにするのではなく、その人達から知らないうちに感染した人からの感染を予防するための世界的な基本的予防策なのです。そして、これも標準予防策（スタンダードプリコーション）の一つであり、公衆衛生でもあります。

咳エチケットが身につくように、日頃より実践しましょう。是非、ご家族やお友達、隣近所の方々にも咳エチケットを伝授して、やがて来るであろう鳥インフルエンザに備えましょう。

ところで、あなたのマスクの着用方法はどうか？

息苦しいからとマスクから鼻を出していませんか？マスクのノーズワイヤーは顔の凹凸に沿ってフィットしていますか？

あなたは今日、鼻をかんだ手を洗いましたか？

出勤時、退勤時に手を洗いましたか？

この機会に是非ご自身の感染予防技術を見直しておきましょう！そして、院内感染対策マニュアルをもう一度読み直してください。新しい感染症が出たからと怖がることはありません。日頃から標準予防策を正しく実践していればね。

※ 三沢師長には院内感染対策のため昨年から定期的に当院へ来て頂き、専門的な指導を受けています。

咳エチケット



咳とくしゃみは
ティッシュで口と鼻
を覆いましょう

もしくは



手でなく
袖で受けましょう



ティッシュは
ゴミ箱へ

▶ 鼻をかんだら…



病院ボランティア募集

当院では、外来患者さまのご案内、院内外環境整備（清掃・除草等）などをしていただける病院ボランティアの方を随時、募集しております。あなたのやさしさをお待ちしております。

問い合わせ先 管理課まで（内線：141）

～髪切り人生 50年のあゆみ～

前理容室 長倉 淑子

“昭和 34年全国結核患者同盟より紹介が有り、長い道のりになろうとは・・・”

春も浅い日、茅葺き屋根の岡本駅舎に立つ、駅とはいえども淋しく、一人ポツンと汽車を待って立たずんでいた頃の駅を思い出します。

昭和 34年 4月 1日、初めて岡本駅に降り立ち、雑木林に包まれ、道なき道を進み樹木の中に木造建ての家が並び 10病棟が現れ「ビックリ」し、800人も入院していると言われる国立の療養所であることに二度「ビックリ」したのを思い出します。この時代は食糧事情も悪く、薬もなくただただ冷たいベットで寒い窓を開けて、大気の中で安静療養しかなく、5年、10年、30年と長く療養して窓は閉まらず、すきま風がピューピューと、床はガタガタと環境も悪く大変な時代でした。患者の親たちは我が子に食べさせるべく滋養を付け、体力増強を望みタマゴや川魚を食べさせ元気になる喜びをひたすら願いました。一方で病気に負け樹木の葉がくれに姿を消し、天国に旅立つ患者は毎日でした。そんな中で私は明るく元気に髪を切り、ハンサムにしてあげた患者が死を選ぶ悲しさばかりがつのりました。一方では胸郭形成して良くなる患者、元気な人は厚生省に出向き、もっと栄養のある食事をと陳情に行き、楽しみといえば映画の 1年に 1回上映等、時は流れ病院も移り行き、様変わりを繰り返し、昭和 50年に重症心身障害児（者）病棟が建ち、子供達の髪を切り続ける傍ら新たな病棟が立ち並ぶ為、ヤドカリのように床屋も引っ越しを繰り返した。

又、この頃になって薬も良くなり退院することが出来るようになり、長い療養生活から解放され、心から喜んで赤い字で「退院、おめでとう」と大きな旗を立て「バンザイ、バンザイ」と療友を送る明るい声が毎日響いていました。この時代は職員、看護婦さん共にとても和やかで良い時代でした。平成になり国立療養所宇都宮病院と合併し患者数も増え、時も忘れるほど私もハサミのリズムに乗り多くの患者さんと療養の病み、人生、将来の生活等の話など髪を切りながら泣いたり笑ったり、50年という髪切り人生に恵まれ、楽しい職場で人生を送ることが出来、「感謝の一言につきる思い出」を心からお礼申し上げます。

※ 平成 21年 3月 31日、長倉さんの 50年間に及ぶ労を讃えて当院から「感謝状」が贈呈されました。



【 感謝状贈呈式 】



昭和 20年 3月頃

【 当院の前身である栃木療養所(当時) 】

平成21年度関東信越ブロック 看護職員合同就職説明会に参加して

西1病棟 上 梶 奈央子

平成21年4月24日（金）に幕張メッセ国際会議場で行われた関東信越ブロック看護職員合同就職説明会に参加してきました。当院では今年から、院内で起こる転倒防止の充実を図るため、転倒予防のメディカル・フットケアの取り組みがスタートしています。そこで今回看護体験コーナーで『メディカル・フットケアで転倒予防!!』というテーマで、就職説明会に参加した看護学生を対象にメディカル・フットケアについて紹介してきました。内容はメディカル・フットケアの場面をビデオを使って説明し、実際に25名くらいの学生のフットケア（温タオル・マッサージ・爪の手入れ）を行いました。フットケアを行った学生からは、「気持ちよかったです!」「全身がほかほかしてきました。」という言葉と笑顔が見られました。フットケアを行うことで、学生だけでなくケアを行っている私たちもリラックスでき、ケアの内容だけでなく、実際の看護師の体験など会話を広げることができました。体験コーナーで学生と関わり、改めて私自身が看護の楽しさを感じることができました。自分が楽しく看護を行うことで、学生に看護をより身近に感じてもらい、楽しさを伝えられることを再確認しました。また今回の体験を通しフットケアの効果を実感することができました。今後も、より深く知識と技術を磨いていきたいと思います。また院内においても、学生に看護の楽しさを体験から感じるこ



看護の日記念行事を開催して

テーマ「NHO宇都宮病院はあなたの健康をサポートします」

行事委員会 射田 明 美

5月8日（金曜日）にヨークベニマル御幸ヶ原店のご協力をいただき、看護の日記念行事を行いました。今年で病院外での開催は3回目です。今年のテーマは地域の皆様に積極的に関心を持っていただけるようなものとなりました。当日は小雨混じりの天気のためか、来店者が例年より少なく、特にお子様は少ないように感じました。病院職員や医師の協力も得て、皆で風船やパンフレット等の配布を行い、買い物前や帰りに参加していただきました。今年は、健康相談や身体測定・骨密度測定と共に、初めて「AEDの使い方講習」を宇都宮消防署職員のご協力を得て行いました。最初はなかなか参加しようという方がいませんでしたが、時間が経つにつれ関心を持った方が熱心に参加されていました。「AEDが設置されていることは知っていたが見たことはなくてよかった」との声も聞かれました。記念行事に参加された方は、身体測定・骨密度測定に約100名、健康相談に16名、AEDの使い方講習に17名でした。終了時間を少し過ぎてしまう程の盛況でした。また、院内では外来に各看護単位と栄養室の紹介を2週間掲示いたしました。各病棟の特徴を紹介した力作で、外来の待ち時間や面会時に見ていただきました。今後もこの記念行事のようなイベントを通じ多くの方と触れ合い、地域の皆様の健康のサポートができるようにと思います。



赤組がんばれ！エイエイオー！
白組がんばれ！エイエイオー！

～ ふれあいスポーツフェスティバル ～

療育指導室 保育士 出井美雪

「今年の優勝は、赤組西5病棟」！！

の言葉で今年度のスポーツフェスティバルは幕を閉じました。開催当初から、赤組白組ともに白熱した戦い、応援が繰り上げられました。昨年優勝の西6病棟（赤組）、今年こそはと燃える西5病棟（白組）。応援にも気合いが入り、会場みんなが一丸となって大きな声が飛び交っていました。どの競技も重い障害をお持ちの方に工夫され、体力だけではなく美的センスやチームワークも問われ、それぞれに楽しく、盛り上がっていました。

今年で34回目となる「ふれあいスポーツフェスティバル」は、重症心身障害児（者）とご家族、職員、ボランティアや県立岡本特別支援学校の協力のもとに開催される、一大行事の1つです。競技や活動に参加し、親子でふれあい、皆と共に楽しみながら親睦を深めることができます。今年の成果や悔しさを又来年に向け、さらに盛り立てていきたいです。



職場紹介



医事業務について

日本医療事務センター 石川 美由貴

早いもので、日本医療事務センターが、医事業務でお世話になり始めてから一年が過ぎようとしています。昨年は、季節の移り変わりを感じる間もなく過ぎてしまったように思います。

少し会社の紹介をしますと、私たちが所属している日本医療事務センター栃木支社は、JR宇都宮駅東口 徒歩1分の所に事務所があります。県内の公立病院を中心に事業展開をしており、社内スタッフ8名、病院勤務者は今年4月で500名になりました。その内の24名が宇都宮病院へ配属になっています。

私たちは、初再診・入院受付、カルテの作成・管理、治療費の算定入力、会計、夜間受付の業務にあたっています。

どの仕事を取っても正確さとスピードが求められます。算定入力者は少しでも病院収益に繋がるよう、伝票と点数表を見比べながら又、月末～月初10日ごろまではレセプト点検と日々奮闘しています。

そんな中でも、気持ちにゆとりを持って笑顔で対応が出来るよう心がけています。（マスクで顔の表情が分かりにくいのが残念）

これからは、スタッフ一人ひとりが病院の顔として欠かせない存在になれるよう頑張っていきたいと思っています。

皆様の温かいご指導をよろしくお願いします。



編集後記

わかあゆ 2009年夏号の発行です。

現在 4月末からの、新型インフルエンザの流行のため、街中でもマスクをされている人々を多く見かけるようになりました。感染防止には、手洗い・うがいがある有効とされ、実践されている方も多いと思います。

今号の発行される時期には、新型インフルエンザの流行が落ち着いていくことを願いつつ、皆さん、是非今後も手洗い・うがいを続け、楽しい夏を迎えてください。

経理係長 篠原 固



【ポピー】（鬼怒グリーンパークにて）

表紙撮影：撮影透視主任 渡部孝夫

外来診療担当医表

平成 2年 7月 1日現在

診療科名		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
総合診療科(初診)						
内科		沼尾 利郎／ 吉川弥須子	岡安 寿江／ 伊藤 雅史	沼尾 利郎／ 橋本 敬／ 小倉利恵子	岡田 壮令	田坂登司博
外科		最上 恭至	中島 政信	滝田 純子	中島 政信	増田 典弘
糖尿病・内分泌内科	午前	佐藤 稔	森 豊	平間 記子	佐藤 稔	岡安 寿江
	午後	佐藤 稔	岡安 寿江	平間 記子	佐藤 稔	岡安 寿江
神経内科		伊藤 雅史			岡部 龍太	
消化器内科		小倉利恵子	菅谷 洋子	山浦知恵子	橋本 敬	菅谷 洋子
循環器内科			伊藤 致	田所 寿剛		
呼吸器科	午前	岡田 壮令	沼尾 利郎	田坂登司博	太田 真弓	吉川弥須子
	午後	塩原 香苗		田坂(第1・3週)	太田 真弓	
腎臓内科 (午後)[予約制]					岡田和久(2・4週)	
小児科 受付 14:00～16:00	午後		予 防 接 種 (小児)[予約制]		子供養育相談ルーム [予約制](第2・4)	
小児アレルギー外来 (午後)[予約制]					中野俊至(1・3週)	
小児神経外来(午後)		奥野 章(3週)				
外科	午前 診	増田 典弘	伊藤 知和	増田 典弘	増田 典弘	伊藤 知和
	午後 診	最上 恭至	増田 典弘	滝田 純子	中島 政信	伊藤 知和
整形外科	1 診	田中 孝昭	石川 義久	熊谷(第1週) 田中(第2・3・4週) 熊谷(第5週)	三橋(第2・4週) 茶園(第1・3・5週)	熊谷 吉夫
	2 診	三橋 真		石川(第1・5週) 茶園(第2・4週) 熊谷(第3週)		(午前) 石川義久 (午後) 茶園昌明
リウマチ科 (整形外科1診)				熊谷(第1・5週) 田中(第2・3・4週)		
リハビリテーション				熊谷 吉夫	熊谷 吉夫	熊谷 吉夫
装具外来		田中 孝昭				熊谷 吉夫
※歯科			渡辺 裕子	渡辺 裕子	渡辺 裕子	
物忘れ外来(午後・予約制)				伊藤雅史・岡部龍太		
禁煙外来(保険外診療)(午後)						沼尾 利郎
眼科(午後)						松原 忠之／ 永田万由美／ 大沼 恵理
皮膚科(午後)			嶋岡 弥生			
※耳鼻咽喉科(午後)			添田 弘			

病院紹介

- 外来診療受付時間 8:30～11:00
外科は、午後も診療を行っております(午後の診療受付時間 14:00～16:00)
- 水曜日の糖尿病内分泌内科につきましては、再診の患者さまのみの診療となります。
- 金曜日の禁煙外来につきましては、午後2時からの診療となります。
- 耳鼻咽喉科、歯科に関しましては入院患者さまのみの診療となります。
- 眼科・皮膚科・物忘れ外来につきましては、地域医療連携室におきまして電話での予約を受け付けております。
- 眼科診療時間 14:00～16:30 皮膚科診療時間 13:30～16:30 物忘れ外来診療時間 14:00～15:00
- 地域医療連携室 TEL 028-673-2374(直通) FAX 028-673-1961(直通)
担当 永山悦子(ソーシャルワーカー)、宇梶多恵(ソーシャルワーカー)



独立行政法人(NHO)
国立 病院 機構 宇都宮病院

〒329-1193 栃木県宇都宮市下岡本町2160
TEL 028-673-2111 FAX 028-673-6148
<http://www.hosp.go.jp/utsuno/>